

山陽新聞 東備版 に掲載されました！

平成21年12月1日付

正しい知識身に付けよう

おくすり教室

県薬剤師会東備支部
役員

古野勝彦さん(34)

(和気町田原上)



東備支部の地域活動
の一環として、17日午
後2時～3時半、赤磐

市下市の中央公民館で
開く。「薬の安全で有
効な使い方を知ってほ
しい」と呼び掛ける。

安価な後発薬(ジェネリック医薬品)、お薬手帳の上手な活用方法などについて、雑学やクイズを交えて分かりやすく説明する。

これまでも同市老人クラブ連合会のリーダー養成研修講座や小学生の職業体験で薬について紹介しており「薬は使い方間違えると害になることもある。正しい知識を身に付けて」と話している。

参加無料。定員は80人で、事前申し込みが必要。問い合わせは、古野さんが店長を務めるおかやま薬局山陽店(086-955-0080)。(大島望)



薬の使用法など紹介

赤磐で薬剤師ら
一般向け講演会
高齢者ら20人に

備前、赤磐市、和気町の薬剤師らでつくる県薬剤師会東備支部は17日、薬の正しい使い方を紹介する「おokusり教室」を、赤磐市下市の中央公民館で開いた。一般向けの講演会は初めてという。

講師となり、病院で出される処方せんが全国の保険薬局で使えることや、後発医薬品（ジェネリック医薬品）が安価な理由などをクイズを交えて紹介した。

同市桜が丘西、岡本真一さん（77）は「薬について参考になることが多く、薬剤師に相談しやすくなった」と話していた。（大島望）

また、「薬を飲み忘れてもまとめて飲んで駄目」「お薬手帳は外出する際に携帯を」

高年齢者ら約20人が参加。おかやま薬局山陽店（同市山陽）の薬剤師古野勝彦さん（34）が薬の正しい使い方などが紹介されたおokusり教室

「薬で気になることがあれば、薬剤師に気軽に尋ねてほしい」と話していた。